

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 ジャパンディスプレイ 茂原工場
------------	-------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 4	2 9								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

29 : 工程管理による手法 その他
(1) 塗布剤の吐出量削減。
(2) 塗布剤の洗浄液(シンナー)使用量、交換頻度減。

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 4	3 4	1 1							

(その三)

工場又は事業場の名称	二宮産業株式会社 長南工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 1	2 2	2 9	3 3	9 1				

その他（1 9， 2 9， 3 9， 4 9， 5 9， 9 9）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

課題：顧客の増産要求に応えなければならず、市場により変動する。

対応 ① ハイソリッド塗料の再開発により開始・シンナー排出量の削減

② メラミン（焼き付け塗料）をウレタン塗料に顧客依頼により排出量削減

③ 千種工場部品ライン改築により部品塗装増により変動する

④ 顧客にメラミン塗装からウレタン塗料に変更依頼し排出量削減

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 1	2 2	2 9	3 3	9 1				

(その四)

工場又は事業場の名称	河村産業株式会社 かずさ工場
------------	-------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度			
	平成16年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)			7 7 0 0	.
			× 1 0	
排出等の量 (kg/年度)			6 8	.
処理回収率 (%)			9 9	.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)			

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
5	6								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日本ドラム株式会社 富津工場
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	2 3	2 9	3 1	3 3	3 9	5 1	9 1	9 9

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

昨年と同様に炭化水素除去装置・密栓型塗装ブース・オートカラーチェンジャー・ 塗装焼付型炉・ホットエアレス塗装方式により揮発性有機化合物の排出量を50% 以上の削減を実施しております。
目標年度の削減策定について
前年度の削減策定において、揮発性有機化合物に該当しない薬品を使用する事で、 今年度は、目標年度に対し約5%以上の削減率を達成する事が出来ました。 毎年、製品生産の増加に伴い使用量と排出量の低減が極めて難しいですが、 今まで以上に削減対策に尽力を尽くして参ります。

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	2 3	2 9	3 1	3 3	3 9	5 1	9 1	9 9

(その四)

工場又は事業場の名称	日本ドラム株式会社 富津工場
------------	-------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策
(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	19年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	6	5	0	0	0
	× 10				
排出等の量 (kg/年度)	3	3	0	0	0
処理回収率 (%)	49				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--	--	--	--

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2	1	3	1	3	3	3	9	5	1
								9	1
								9	9

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

平成18年10月の工場設立時から炭化水素除去装置・密閉型塗装ブース・オートカラーチェンジャー・塗装焼付山型炉・ホットエアレス塗装方式を設置し、操業と同時に50%以上の揮発性有機化合物の削減を実行しています。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 荏原製作所 富津事業所
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

排出量を工場移転前(平成21年度)と比べて30%以上削減を維持にする。
また、指針第4の4(5)による「VOC排出量をVOC使用量の50%以下に削減する」を平成26年度までの目標とする。
1. 塗料対策(11、12)
低VOC塗料：標準化、客先への提案、実機への適用、評価
2. 溶剤対策：蓋閉めの徹底(21)
3. 洗浄剤対策
洗浄方法の工夫・変更(29)、高圧蒸気洗浄の使用頻度向上(29)
洗浄工程の廃止(29)：防錆方法の変更
4. その他の対策
廃棄物管理(99)：残液の回収、残液のVOC含有量の算出
塗料庫の入在庫管理の徹底(99)、エアラップガンの使用(39)

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9				

